

## ユニバーサルデザインに関するアンケート

会津若松市では、平成19年に「会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」を策定し、現在は4期目の計画となる「第4次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づき、「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現に向けて、様々な取組を行っております。

この度、市政モニターの皆様を対象にユニバーサルデザインに関するアンケートを実施し、日頃の生活の中で感じていることや、ご意見・ご提案等を伺い、今後の取組の参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、アンケート結果につきましては、個人が特定できない形で市のホームページで公表させていただくほか、市内の事業者の皆様への情報提供等を行う場合がありますので、ご了承ください。

**※回答は別紙の回答用紙に記載してください。**

アンケートへのご協力、  
よろしくお願いします。



会津若松市ユニバーサルデザインキャラクター  
「ゆにぼくん」

### 1. はじめに、ご自身についてお聞かせください

問1：あなたの氏名をご記入ください。

( )

問2：あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 18～29歳 | 4 50～59歳 |
| 2 30～39歳 | 5 60～69歳 |
| 3 40～49歳 | 6 70歳以上  |

問3：あなた、もしくはあなたと同居する方が次のどれに該当するか教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください。)

- 1 65歳以上である
- 2 妊娠中である
- 3 要介護または障がいがある
- 4 外国出身である
- 5 未就学児である
- 6 いずれにも該当しない

問4：市が発信する情報を収集する方法として最も利用する頻度が多いのは次のどれですか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 1 市政だより(同時配付のチラシも含む)
- 2 ホームページ(会津若松プラスも含む)
- 3 あいべあメール
- 4 SNS(フェイスブック、ツイッターなど)
- 5 FMラジオ
- 6 その他( )

問5：情報収集の手段としてインターネットを利用していますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 1 利用している  → 問7へ
- 2 利用していないが、今後利用したいと考えている
- 3 利用していないし、今後も利用するつもりはない

問6：問5で「2利用していないが、今後利用したいと考えている」、「3利用していないし、今後も利用するつもりはない」と回答した方に伺います。利用していない理由を教えてください。(あてはまるものを3つまで選んでください。)

- 1 必要性を感じない
- 2 操作がむずかしい
- 3 情報漏洩など安全面に不安がある
- 4 使い方等について身近に相談できる人がいない
- 5 高価である
- 6 インターネット環境がない
- 7 その他( )

問7：情報収集の手段としてインターネットを利用しやすい環境にするためには、どのような仕組みや支援が必要だと考えますか。(最もあてはまるものを1つ選んでください。)

- 1 公共インターネット利用環境の整備(フリーWi-Fiの設置・増設など)
- 2 スマートフォン教室等のICTに関する学びの場の充実
- 3 スマートフォンの使い方等の知識を教えられる地域人材の育成
- 4 公共施設等への相談窓口の設置・充実
- 5 市が提供するICTサービス(ホームページなど)の改善・充実
- 6 その他( )

## 2. ユニバーサルデザインについて伺います

問8：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。  
(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 1 言葉を知っており、考え方や意味をよく知っている
- 2 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない
- 4 言葉自体知らない → 問10へ

問9：問8で「1考え方や意味をよく知っている」、「2考え方や意味を少し知っている」、「3考え方や意味は知らない」と回答した方に伺います。「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- |              |                          |
|--------------|--------------------------|
| 1 テレビ、ラジオ    | 5 行政広報(市政だより、市のホームページなど) |
| 2 本、新聞、雑誌    | 6 店舗や施設などの取組             |
| 3 インターネット    | 7 学校の授業                  |
| 4 講演会・シンポジウム | 8 その他( )                 |

問10：あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心がありますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1 非常に関心がある | 3 関心がない |
| 2 少し関心がある  | 4 わからない |

## 【「ユニバーサルデザイン」とは…】

- はじめから
- すべての人の多様なニーズを考慮し
- 年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず
- すべての人にとって安心・安全で利用しやすいように

ぜひお読みください！



建物、製品、サービスなどを計画、設計する考え方です。

そして、今より少しでも利用しやすいものを目指すことを見直し、絶えず改善に取り組んでいくものです。

## 【ユニバーサルデザインの例】

- 子どもや言語が異なる方にも意味が伝わるよう、絵や記号などのピクトグラムを使った案内表示にする（トイレの男性／女性のマークなど）
- 誰にでも安全で利用しやすい施設にする（スロープ、手すり、段差のないフロアなど）
- 情報を誰にでも分かりやすく、迅速に伝える（文字を大きくする、ホームページの読み上げ対応 など）

## 【知っていますか？バリアフリーとユニバーサルデザインのちがい】

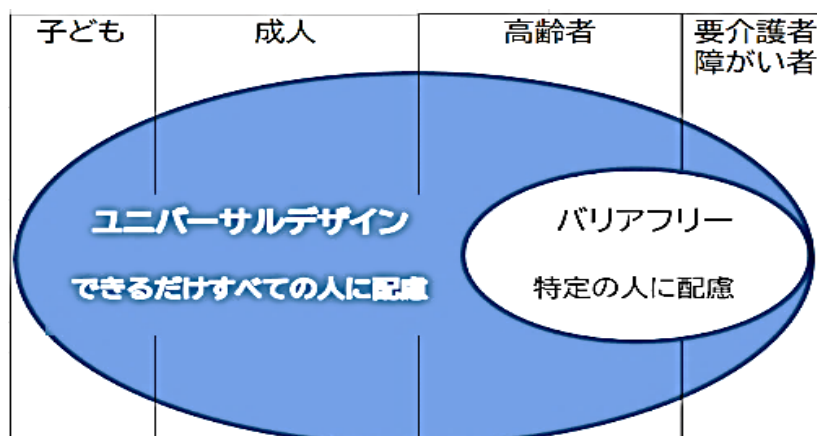
- バリアフリーとは

高齢者や障がいのある方といった特定の人を対象として、階段等に手すりを設置したり、出入口にスロープを設置したりするなど、快適に生活できるように後から障壁(バリア)をなくすことです。

- ユニバーサルデザインとは

年齢、性別、言語、そして障がいの有無などの違いにかかわらず、はじめからすべての人が生活・活動しやすい環境づくりを行うことです。バリアフリーに比べると対象者が広くなります。

それぞれの対象のイメージ



問 11：あなたの日常生活の中で、下にあるそれぞれの分野のユニバーサルデザインやその取組が、どの程度浸透していると思いますか。（それぞれあてはまるものを1つ選んでください。）

 <p>ユニバーサルデザインを推進するためには、市だけでなく、事業者や市民の皆さんの意識や行動の実践も大切です。</p>	十分浸透している	まあまあ浸透している	あまり浸透していない	ほとんど浸透していない	わからない
① 意識啓発（意識づくり）の取組について （思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性についての啓発など）	1	2	3	4	5
② 地域・社会環境について （地域での支え合い、交流の場づくり、防犯・防災などの安全・安心な環境づくり）	1	2	3	4	5
③ 情報の提供について （様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ、情報の利用しやすさ）	1	2	3	4	5
④ サービスの提供について （手続きの簡素化、気配りある対応など）	1	2	3	4	5
⑤ まちづくりについて （施設設備、道路、公園、公共交通など）	1	2	3	4	5
⑥ もの（製品）づくりについて （誰もが使いやすい製品の開発、普及など）	1	2	3	4	5
⑦ 全般的な認知度について （「ユニバーサルデザイン」という言葉やその意味）	1	2	3	4	5

問 12：あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を特に導入していくことが必要だと考えるものはどれですか。（「ハード面」「ソフト面」それぞれにあてはまるものを1つ選び、その理由をお書きください。）

【ハード面】

- 1 公共建築物(庁舎、公民館・市民センター、市営住宅、学校 等)
  - 2 民間建築物(商業施設、商店街、宿泊施設 等)
  - 3 公共交通機関(バス、タクシー、鉄道)※車両のほか、附属する施設・設備も含む
  - 4 道路(歩道、車道)
  - 5 公共空間(公園、広場 等)
  - 6 製品
- 理由( )

【ソフト面】

- 1 人々の意識やこころのあり方
  - 2 地域活動や社会活動(就労を含む)へ参画するための環境
  - 3 教育・学習環境
  - 4 災害時の対応
  - 5 情報提供(ホームページ、印刷物、案内表示 等)
  - 6 サービス
- 理由( )

### 3. 「こころのユニバーサルデザイン」について伺います



施設や設備、サービスなどを使いやすいものにしても、利用する人や管理する人に多様な方の個性や状況についての理解や配慮が欠けていると、使いにくいものになってしまうことがあります。

ハードやソフトで不足があっても、互いの違いに気づき、他者を尊重する意識や行動で不便さを補うことができる場合があります。こうした意識や行動が「こころのユニバーサルデザイン」であり、ユニバーサルデザインを広げていく基盤です。



#### 【想像してみてください】

点字ブロックの上に自転車が止まっていたら、ブロックを頼りに歩く視覚障がい者の方がその道を通れなくなってしまいます。他者の個性や状況を理解し、行動することは誰にでもできる「こころのユニバーサルデザイン」の一つです。



問 13：あなたは、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚や聴覚に障がいのある方が、迷っていたりした場合、手助けしていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 1 常に手助けしている
  - 2 できるだけ手助けしている
  - 3 手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない
  - 4 手助けしたくない
  - 5 そういった場面にあつたことがない
- } → 問 14 へ
- 問 14 へ



問13-1：問 13 で「3手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない」「4手助けしたくない」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 1 手助けをしたくても対応方法がわからないから
- 2 かえって相手の迷惑になるといやだから
- 3 他のことで忙しく、周囲に気を配る余裕がないから
- 4 自分以外のことには関心がないから
- 5 恥ずかしいから
- 6 新型コロナウイルス等の感染を恐れ、他人との接触を避けたいから
- 7 その他  
( )

問 14：こうした困っている状況の方への声のかけ方や手助けの仕方を知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 1 よく知っている
- 2 少しだけ知っている
- 3 知らない
- 4 相手の望む方法を知らないまま手助けしていた

問 15：あなたは、障がいのある方への「合理的配慮」などが求められる「障害者差別解消法」についてご存知ですか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 1 施行されていることも、内容も知っている
- 2 施行されていることは知っているが、内容は知らない
- 3 施行されたことも、内容も知らない

### 【障害者差別解消法とは】

正式名は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」

すべての人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的とした法律で、平成28年4月1日に施行されました。

この法律では、障がいを理由とする不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供が求められています。

詳しくは市のホームページでご確認ください



問 16：あなたは、外国の方が道や駅などで迷っていたりした場合、声をかけて手助けしていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 1 常に手助けしている
  - 2 できるだけ手助けしている
  - 3 手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない
  - 4 手助けしたくない
  - 5 そういった場面にあつたことがない
- } → 問17へ
- 問17へ

問16-1：問 16 で「3手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない」「4手助けしたくない」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 1 手助けをしたくても対応方法がわからないから
- 2 かえって相手の迷惑になるといやだから
- 3 他のことで忙しく、周囲に気を配る余裕がないから
- 4 自分以外のことには関心がないから
- 5 恥ずかしいから
- 6 外国語が分からないから
- 7 新型コロナウイルス等の感染を恐れ、他人との接触を避けたいから
- 8 その他

( )

問 17：あなたは、「ヘルプマーク」を知っていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、どういうものか知らない
- 3 聞いたことがない



ヘルプマーク

※ヘルプマーク…様々な疾患があったり、妊娠していたり、支援や配慮が必要であっても外見からはわかりにくい人が、支援や配慮を他の人に求めるために身につけるもの

問 18：「こころのユニバーサルデザイン」の実践のためには、どのような取組が必要だと思いますか。（最もあてはまるものを1つ選んでください。）

- 1 外国の文化や障がい、性的少数者(※)などについて学ぶこと
- 2 外国の方や障がいのある方、高齢者などへの対応やサポートの方法を学ぶこと
- 3 外国の方や障がいのある方、高齢者などとの交流
- 4 外国の文化や障がい、性的少数者などへの理解が進むよう、広報・啓発活動を行うこと
- 5 学校教育などで「こころのユニバーサルデザイン」を学ぶこと
- 6 家庭で「こころのユニバーサルデザイン」について話し合うこと
- 7 「こころのユニバーサルデザイン」の実例を広く情報発信すること
- 8 その他  
( )

※性的少数者とは…自分が感じる自身の性別（性自認）や、恋愛などの対象となる性別の方向性（性的指向）を理由に、生きづらさを感じている方々を総称する言葉。LGBT と称されることが多い。

4. 最後に、ユニバーサルデザイン（「こころのユニバーサルデザイン」を含む）全般について伺います。

問 19：あなたは日常生活で「ユニバーサルデザイン」を取り入れた施設や設備、商品、サービスなどを利用した経験がありますか。（シャンプーボトルの凹凸や駅の多言語表記、サービス等の内容など）

1 ある  → 問 19-1 へ

2 ない  → 問 20 へ

問 19-1：特に重要だと思ったもの・利用しやすかったと思うものとその理由を教えてください。

---

---

---

---

問 20：新型コロナウイルス感染症の流行下において各施設やお店等で実施している感染対策の中で、特にユニバーサルデザインに配慮されていたり、安心して利用できる、または便利だと感じたものや、より安心して施設等を利用するための感染対策におけるユニバーサルデザインに関するアイデア等があれば、お聞かせください。

例) 手で押さなくても、手をかざすと自動で液が出てくる消毒液ボトルの設置 など

---

---

---

---

問 21：その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたら、お聞かせください。

---

---

---

---

市では「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現に向けて、ユニバーサルデザインの取組を推進しています。詳しくは「ユニバーサルデザイントップページ」からご覧いただけます。



○ユニバーサルデザイントップページ

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2008101400024/>

アンケートは以上です。  
お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。